

千葉市幼保小連携・接続に関するアンケート調査 結果報告書

平成 31 年 3 月

千葉市幼保小連携・接続検討会議

<調査の概要>

1 調査の目的

千葉市の幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携・接続に関する現状を把握し、今後の具体的方策の検討の基礎資料とする。

なお、今回の調査は、平成 28 年度に実施した実態調査以後のフォロー調査としての意味合いもある。

2 調査対象

(1) 幼保調査

千葉市内の全私立幼稚園・保育所・認定こども園

	園（施設）数 ^{※2}	備考
私立幼稚園（認定こども園） ^{※1}	90（21）	
民間保育園（認定こども園） ^{※1}	107（5）	年長児が不在の園を除く
公立保育所（認定こども園） ^{※1}	59（2）	
計	256（28）	

※1 私立幼稚園から移行した園（民間保育園と一体化したものを含む）は「私立幼稚園」、民間保育園から移行した園及び地方裁量型認定こども園は「民間保育園」、公立保育所から移行した園は「公立保育所」に計上。

※2 カッコ内は認定こども園数（内数）

(2) 小学校調査

千葉市内の全市立小学校（111 校）

3 実施期間

平成 31 年 1 月～2 月

4 主な調査項目

- I 子どもを中心とした交流活動について
- II 教職員同士の連携活動について
- III 幼児期と小学校との円滑な接続について
- IV 家庭や保護者への支援・啓発について
- V 研修会等について

5 調査票の配布・回収方法

電子メール又は書面にて配布・回収

6 調査票の回収状況

	配布数	回収数	回収率
(1) 幼保調査	256	256	100.0%
(2) 小学校調査	111	111	100.0%

＜設問一覧＞

I 子どもを中心とした交流活動について

幼保調査	小学校調査
問Ⅰ 平成 29 年度または 30 年度に、次のような、子どもを中心とした交流活動を実施(年度内の予定も含む)しましたか。【P4】	問Ⅰ 平成 29 年度または 30 年度に、次のような、子どもを中心とした交流活動を実施(年度内の予定も含む)しましたか。【P12】

II 教職員同士の連携活動について

幼保調査	小学校調査
問Ⅱ 平成 29 年度または 30 年度に、小学校との教職員同士の連携活動を実施(年度内の予定も含む)しましたか。【P5】	問Ⅱ 平成 29 年度または 30 年度に、次のような、幼稚園・保育所・認定こども園との教職員同士の連携活動を実施(年度内の予定も含む)しましたか。【P13】

III 幼保から小学校への接続に向けた取組みについて

幼保調査	小学校調査
問Ⅲ-1 特に年長児の教育・保育課程やカリキュラムの編成・実践において、幼児期の育ちや学びを小学校入学後の生活や学習につなげることを、どの程度意識していますか。【P6】	問Ⅲ-1 アプローチカリキュラムについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。【P14】
問Ⅲ-2 アプローチカリキュラムについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。【P6】	問Ⅲ-2 「千葉県版アプローチカリキュラム 作成の手引き【第1版】」(平成 30 年 3 月発行)について、当てはまる番号に○をつけてください。【P15】
問Ⅲ-3 「千葉県版アプローチカリキュラム 作成の手引き【第1版】」(平成 30 年 3 月発行)について、当てはまる番号に○をつけてください。【P7】	—

IV 小学校入学を控えた園児の家庭や保護者への支援や啓発について

幼保調査	小学校調査
問Ⅱ 平成 29 年度または 30 年度に、小学校との教職員同士の連携活動を実施(年度内の予定も含む)しましたか。【P8】	問Ⅳ-1 幼稚園・保育所・認定こども園の年長児の保護者に対し、入学に対する不安を和らげたり、入学に向けた準備を支援したりするために行っていることはありますか。【P16】
問Ⅳ-2 年長児家庭向け啓発リーフレット『もうすぐ小学生！』(平成30年11月発行)について、当てはまる番号に○をつけてください。【P9】	問Ⅳ-2 年長児家庭向け啓発リーフレット『もうすぐ小学生！』(平成 30 年 11 月発行)について、当てはまる番号に○をつけてください。【P16】

V 幼保小連携・接続に係る研修会等について

幼保調査	小学校調査
問Ⅴ 市ではこれまでに、幼保小連携・接続に関して、保育・教育関係者を対象とした各種の講演会・研修会等を企画・開催してきました。今後の参考とさせていただきますので、皆様がより参加しやすくなる、参加したくなくなる考える方法をお聞かせください。【P10】	問Ⅴ 市ではこれまでに、幼保小連携・接続に関して、保育・教育関係者を対象とした各種の講演会・研修会等を企画・開催してきました。今後の参考とさせていただきますので、皆様がより参加しやすくなる、参加したくなくなる考える方法をお聞かせください。【P17】

<調査結果（幼保調査）>

【幼保調査における凡例について】

「全幼保」… 私立幼稚園（認定こども園）、民間保育園（認定こども園）及び公立保育所（認定こども園）

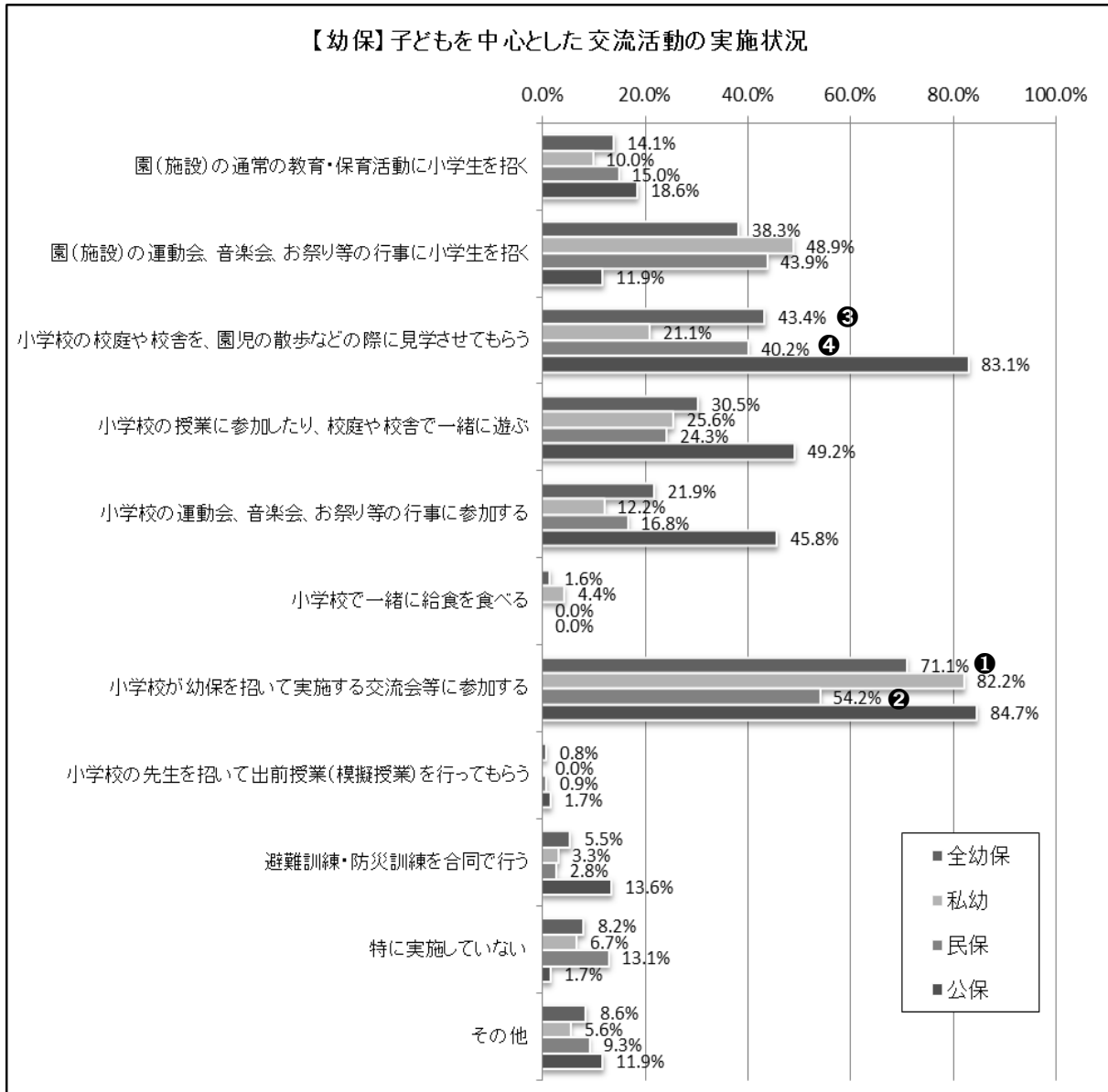
「私幼」… 私立幼稚園（認定こども園）

「民保」… 民間保育園（認定こども園）

「公保」… 公立保育所（認定こども園）

I 子どもを中心とした交流活動について

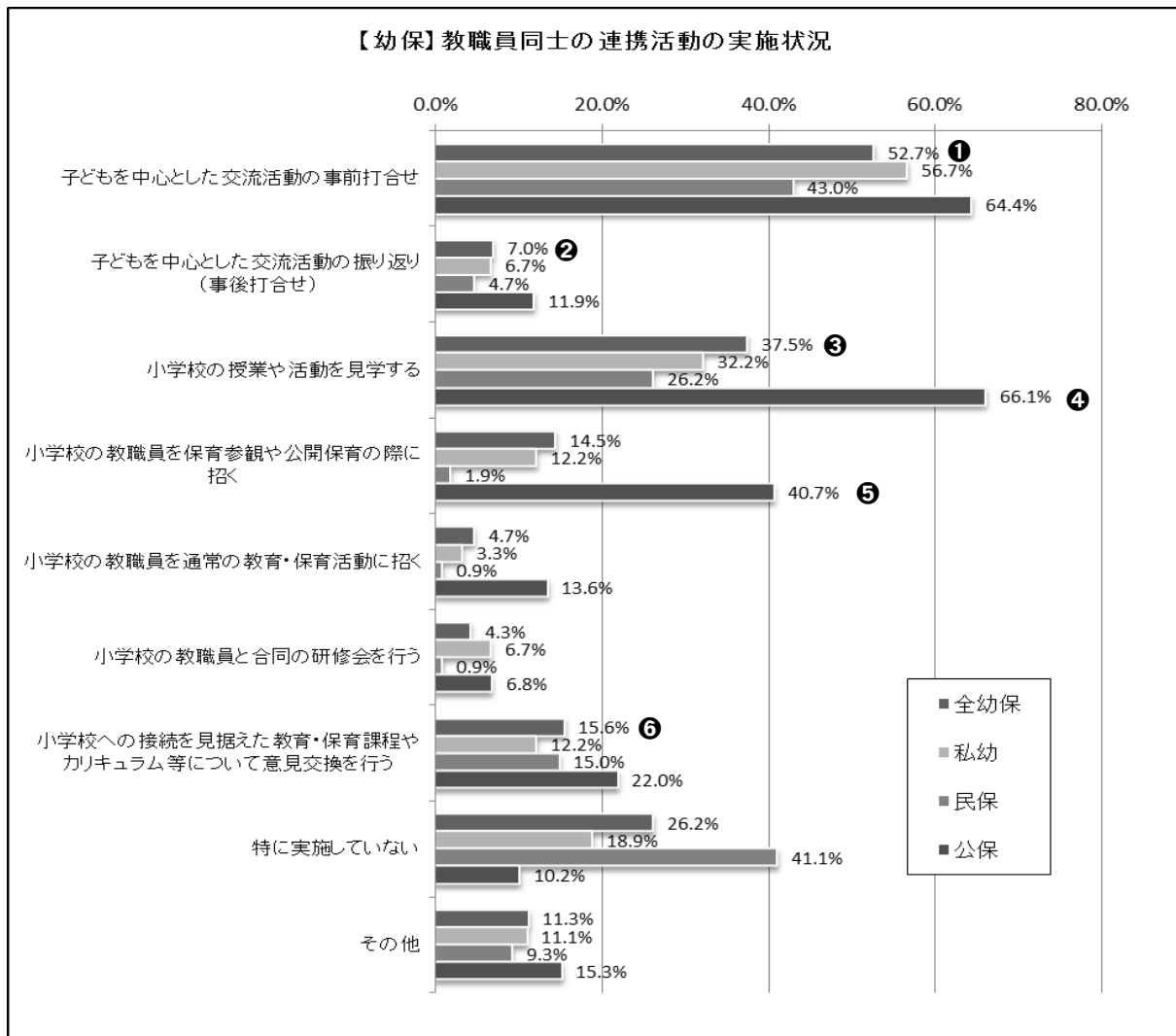
I 平成 29 年度または 30 年度に、次のような、子どもを中心とした交流活動を実施（年度内の予定も含む）しましたか。（複数回答）



- 全幼保の 71.1%が、小学校が幼保を招いて実施する交流会等へ参加している。⇒①
- 民保については、私幼・公保と比較して、参加割合が低くなっており、設置からの年数が若い園が小学校との関係を築けていないことが主な要因と考えられる。⇒②
- 全幼保の 43.4%が、小学校の校庭や校舎を、園児の散歩などの際に見学させてもらっている。⇒③ ※今回新たに調査
- 28 年度の実態調査と比べて、子ども同士の交流には大きな変化はない。
- 民保では私幼・公保と比較して、小学校が幼保を招いて実施する交流会等へ参加する割合が低いですが、小学校の校庭や校舎の見学は約 4 割が行っていることから、今後見学をきっかけとして小学校との交流を進められていくことが考えられる。⇒④

II 教職員同士の連携活動について

II 平成 29 年度または 30 年度に、小学校との教職員同士の連携活動を実施（年度内の予定も含む）しましたか。（複数回答）



○全幼保の 52.7%で、子どもを中心とした交流活動の事前打合せが実施されているが、事後の振り返りは全幼保の 7.0%しか実施されていない。⇒①、②

○全幼保の 37.5%が、小学校の授業や活動の見学を実施している。⇒③

○公保では、小学校の教職員を保育参観や公開保育に招いたり、通常の教育・保育活動に招く割合が他種別よりも高い。⇒④、⑤

■28 年度の実態調査と比べ、全般的に教職員同士の連携が進んでいることが確認できた。

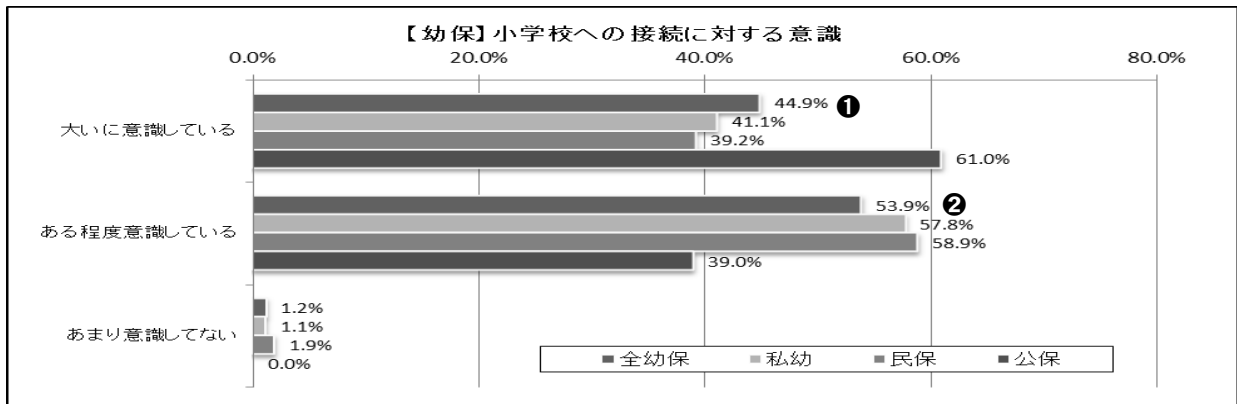
交流活動の振り返り（事後打合せ）	H28 : 4.1% → H31 : 7.0%
小学校の教職員を保育参観・公開保育に招く	H28 : 9.5% → H31 : 14.5%
小学校の教職員と合同の研修会開催	H28 : 2.9% → H31 : 4.3%

■特にカリキュラム等に関する意見交換については、実施の割合が大幅に増えた。⇒⑥

小学校接続を見据えたカリキュラム等の意見交換	H28 : 3.3% → H31 : 15.6%
------------------------	--------------------------

Ⅲ 幼保から小学校への接続に向けた取組みについて

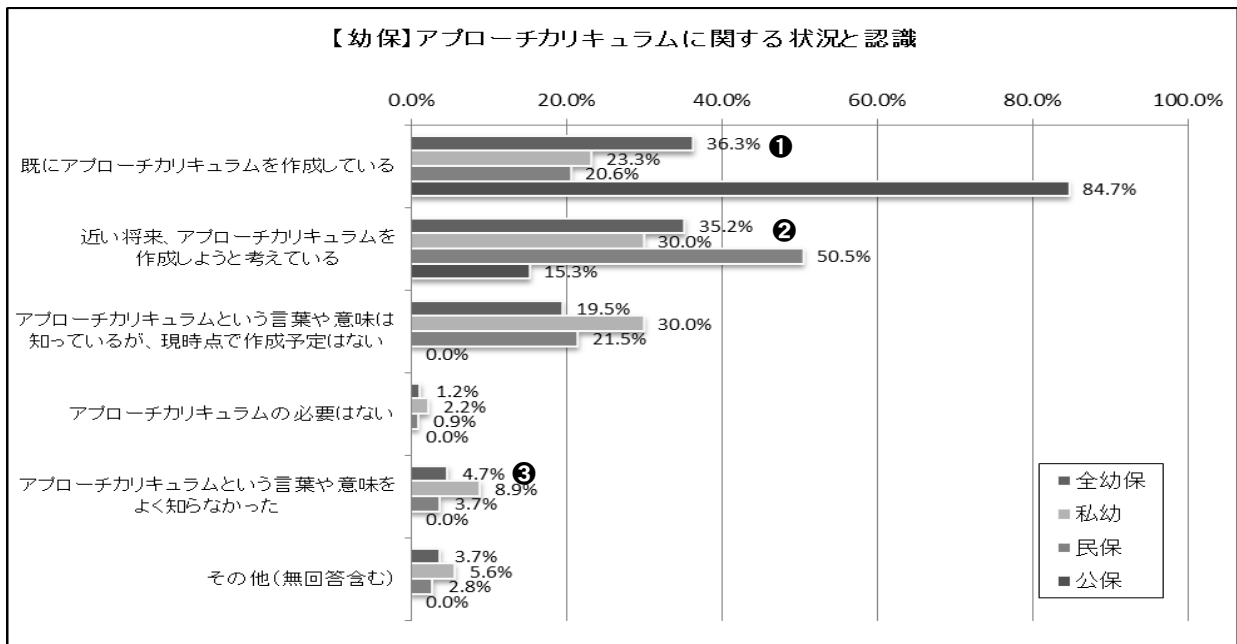
Ⅲ-1 特に年長児の教育・保育課程やカリキュラムの編成・実践において、幼児期の育ちや学びを小学校入学後の生活や学習につなげることを、どの程度意識していますか。



○「大いに意識している」「ある程度意識している」を合わせると、全幼保の 98.8%が、教育・保育課程やカリキュラムの編成・実践において、幼児期の育ちや学びを小学校入学後の生活や学習につなげることを意識している。⇒①、②

■28年度の実態調査と比べ、ほぼ全園が意識するほどに意識が高まっている。(H28：92.6%)

Ⅲ-2 アプローチカリキュラムについて、当てはまる番号に○をつけてください。



○全幼保のうち、既にアプローチカリキュラムを作成している園（施設）、近い将来作成しようと考えている園（施設）をあわせると、71.5%（H28：30.6%）となっている。⇒①、②

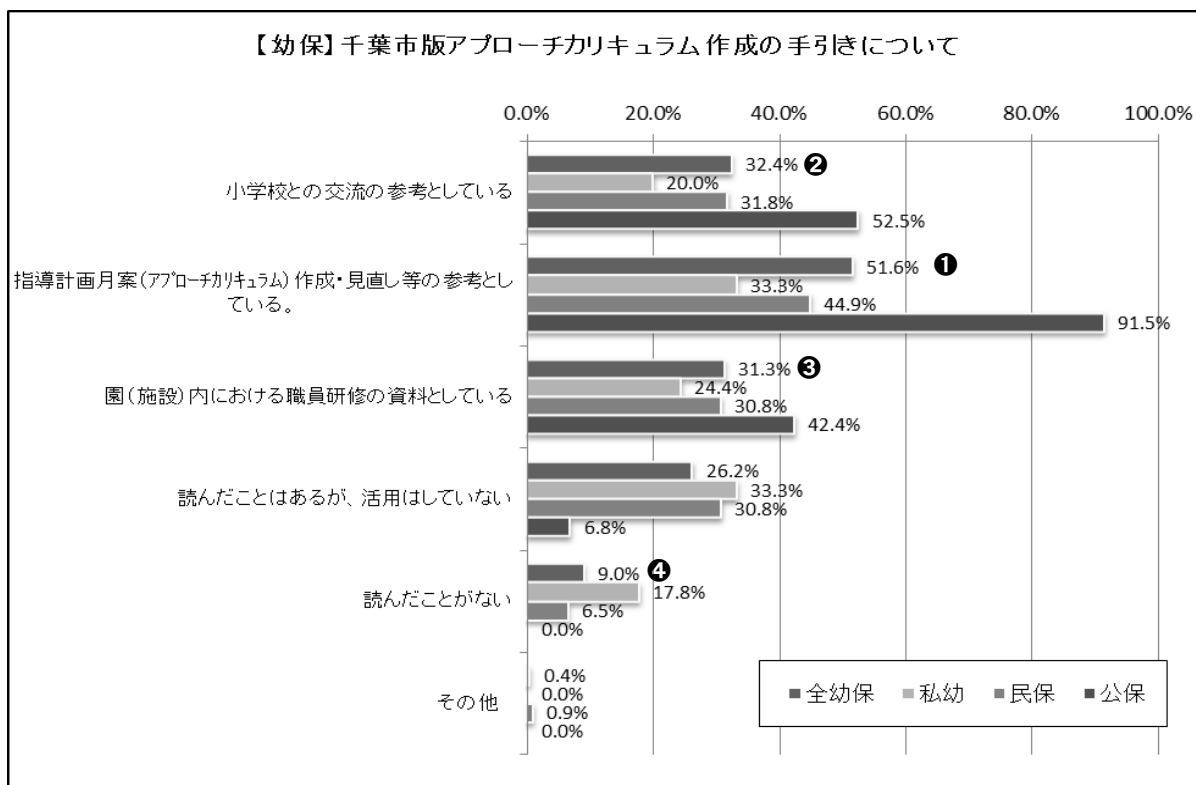
○全幼保で「アプローチカリキュラムという言葉や意味をよく知らなかった」と回答しているのはわずか4.7%であった。(H28：26.9%) ⇒③

■28年度の実態調査と比べ、作成済みもしくは作成予定の園が大幅に増えた。

アプローチカリキュラムを既に作成済 H28:12.4% → H31:36.3%

アプローチカリキュラムを作成予定 H28:18.2% → H31:35.2%

Ⅲ-3 「千葉市版アプローチカリキュラム 作成の手引き【第1版】」（平成30年3月発行）
 について、当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答）



○全幼保のうち、51.6%と半数以上が指導計画月案（アプローチカリキュラム）作成・見直し等の参考としている。⇒①

○全幼保のうち、32.4%が小学校との交流の参考としている。⇒②

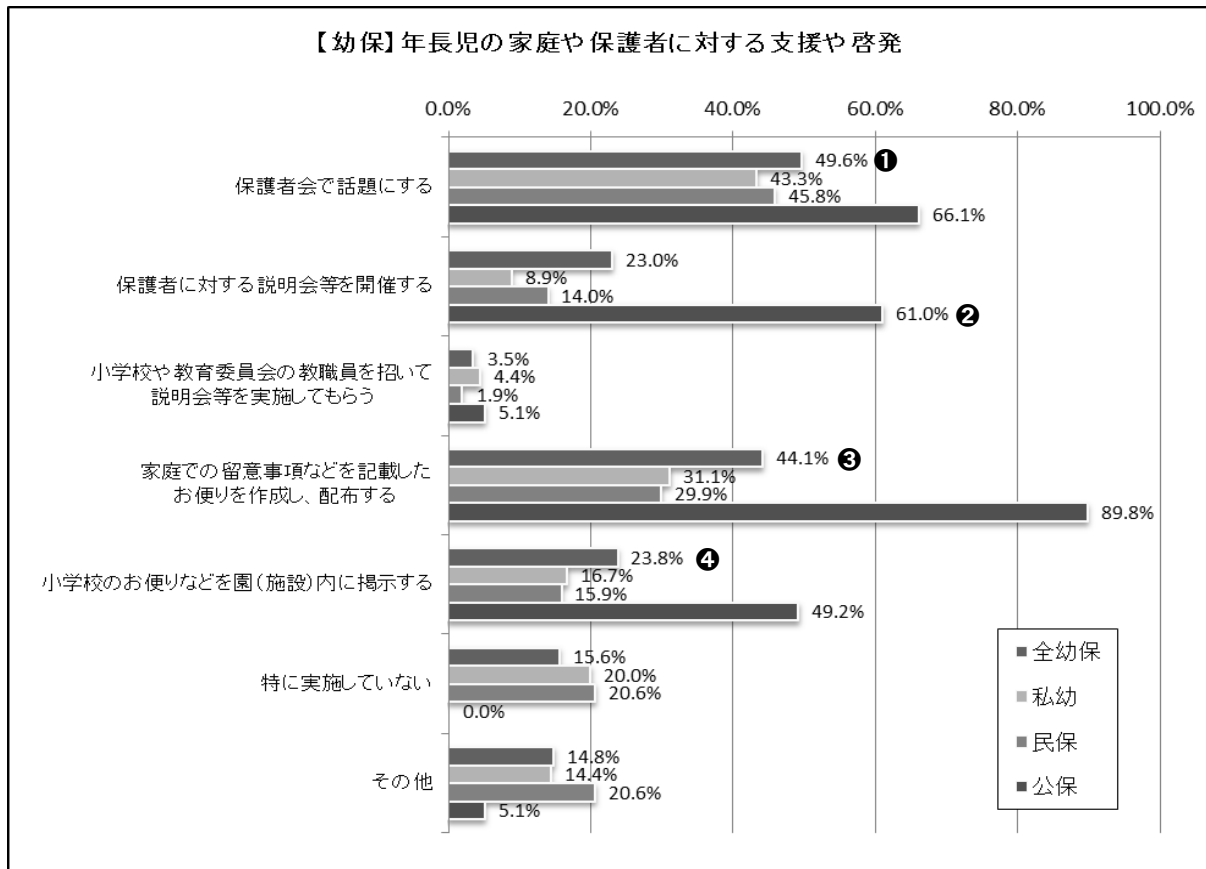
○全幼保のうち、31.3%が園（施設）内における職員研修の参考としている。⇒③

○全幼保で「読んだことがない」と回答しているのは9.0%であった。⇒④

※全項目について今回新たに調査

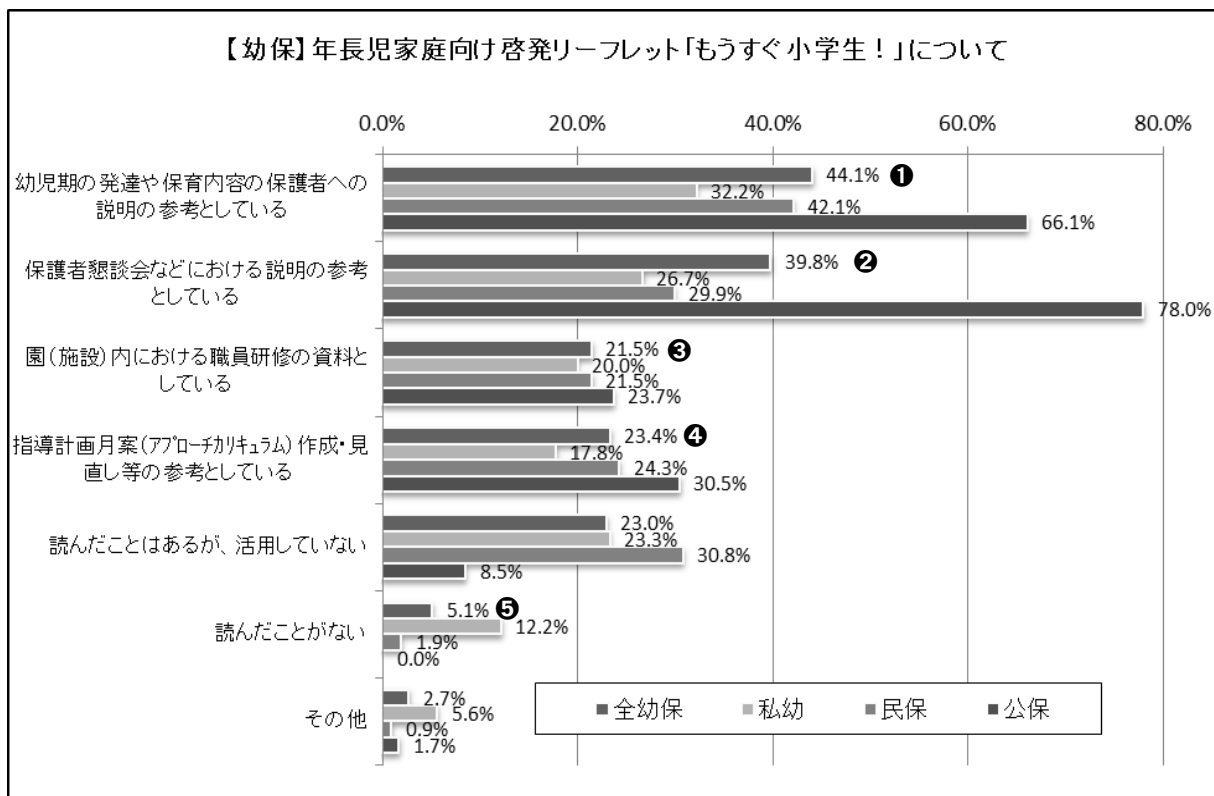
IV 小学校入学を控えた年長児の家庭や保護者への支援や啓発について

IV-1 年長児の保護者に対し、小学校入学に対する不安を和らげたり、家庭での入学に向けた準備を支援するために行っていることはありますか。(複数回答)



- 全幼保の49.6%が、保護者会で小学校への入学を話題にしている。⇒①
- 公保の61.0%が保護者説明会を開催しており、私幼・民保と比べて実施割合が高い。⇒②
- 全幼保の44.1%が、家庭での留意事項などを記載したお便りを作成している。⇒③
- 全幼保の23.8%が、小学校のお便りなどを園(施設)内に掲示している。⇒④
- 28年度の実態調査と比べ、小学校のお便り等の掲示の割合が大きく増えた。
小学校のお便り等の掲示 H28: 5.0% → H31:23.8%

IV-2 年長児家庭向け啓発リーフレット『もうすぐ小学生！』（平成30年11月発行）について、当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答）

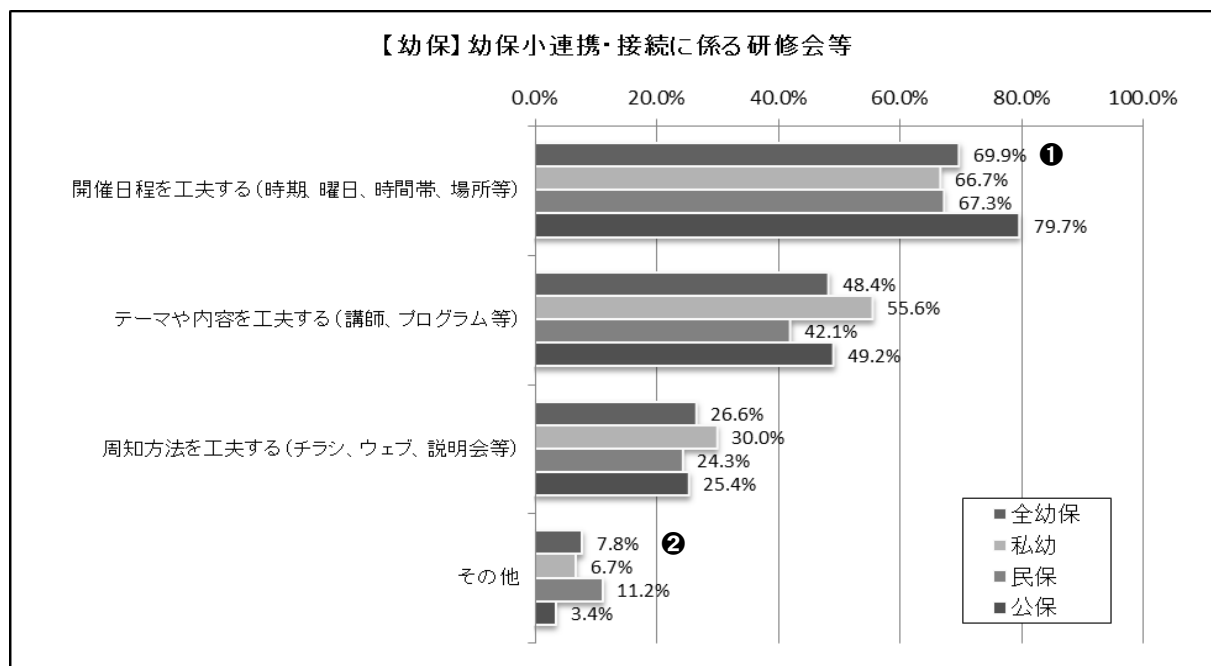


- 全幼保のうち、44.1%が幼児期の発達や保育内容の保護者への説明の参考としている。⇒①
 - 全幼保のうち、39.8%が保護者懇談会などにおける説明の参考としている。⇒②
 - 全幼保のうち、21.5%が園（施設）内における職員研修の参考としている。⇒③
 - 全幼保のうち、23.4%が指導計画月案等（アプローチカリキュラム）作成・見直し等の参考としている。⇒④
 - 全幼保で「読んだことがない」と回答しているのは5.1%であった。⇒⑤
- ※全項目について今回新たに調査

IV 幼保小連携・接続に係る研修会等について

IV 市ではこれまでに、幼保小連携・接続に関して、保育・教育関係者を対象とした各種の講演会・研修会等を企画・開催してきました。今後の参考とさせていただきますので、皆様がより参加しやすくなる、参加したくなると思える方法をお聞かせください。

(複数回答)



○全幼保のどの種別においても同じような傾向があった。一番多かったのは、69.9%で開催日程を工夫する(時期、曜日、時間帯、場所等)であった。⇒①

○その他では、開催日程・内容等に関して以下の意見等があった。⇒②

<開催日程について>

- ・今のままでよい
- ・日曜より曜日の開催がよいという職員の意見もあるが保育園を考えると日曜が望ましい
- ・卒園が近づいた年度末よりも、年度が変わってしばらくたった7月頃の開催がよい
- ・参加できる職員を増やすため通年で開催してほしい

<テーマ・内容について>

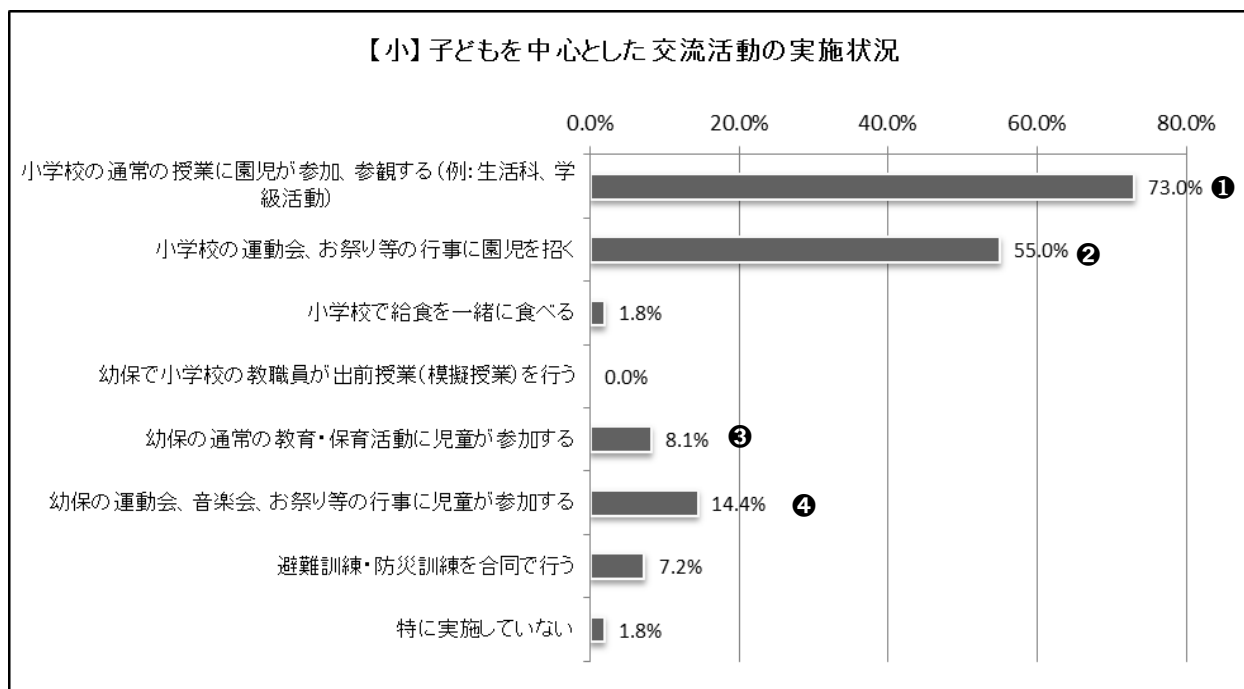
- ・小学校の教職員と幼保の職員が一緒に話し合える場の開催を義務化してほしい
- ・小学校側の先生のお話を聞くことができる機会があるとよい

※全項目について今回新たに調査

<調査結果（小学校調査）>

I 子どもを中心とした交流活動について

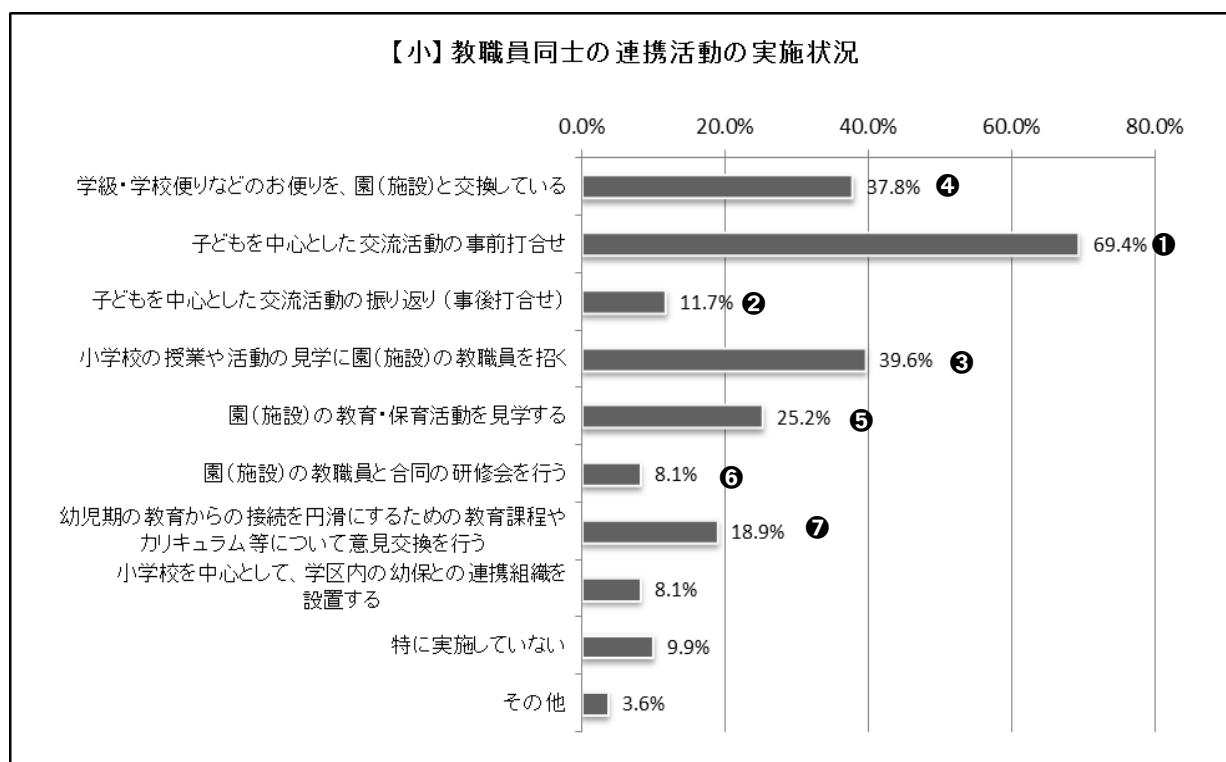
I 平成 29 年度または 30 年度に、次のような、子どもを中心とした交流活動を実施（年度内の予定も含む）しましたか。（複数回答）



- 73.0%が小学校における「通常の授業に園児が参加、参観（生活科、学級活動）する」活動を、55.0%が「運動会、お祭り等の行事に園児を招く」活動を行っている。⇒①、②
- 8.1%が幼保における「通常の教育・保育活動に児童が参加する」活動を、14.4%が「運動会、音楽会、お祭り等の行事に児童が参加する」活動を行っている。⇒③、④
- 28年度の実態調査と比べて、子ども同士の交流には大きな変化はない。

Ⅱ 教職員同士の連携活動について

Ⅱ 平成 29 年度または 30 年度に、次のような、幼稚園・保育所・認定こども園との教職員同士の連携活動を実施（年度内の予定も含む）しましたか。（複数回答）



○小学校の 69.4%で、子どもを中心とした交流活動の事前打合せが実施されているが、振り返り（事後打合せ）は 11.2%しか実施されていない。⇒①、②

○39.6%が、小学校の授業や活動の見学に幼保の園（施設）の教職員を招いている。⇒③

○37.8%で、園（施設）と学校・学級だよりなどのお便りを交換している。今後、お便り交換をきっかけに幼保との連携が進むことも考えられる。⇒④

■園（施設）を訪問しての教育・保育活動の見学や合同研修会を開催している小学校はまだ少ないが、28年度の実態調査と比べて活動が増えてきていることが確認できた。⇒⑤、⑥

園（施設）の教育・保育活動を見学 H28：12.5% → H31：25.2%

園（施設）の教職員と合同の研修会開催 H28：2.7% → H31：8.1%

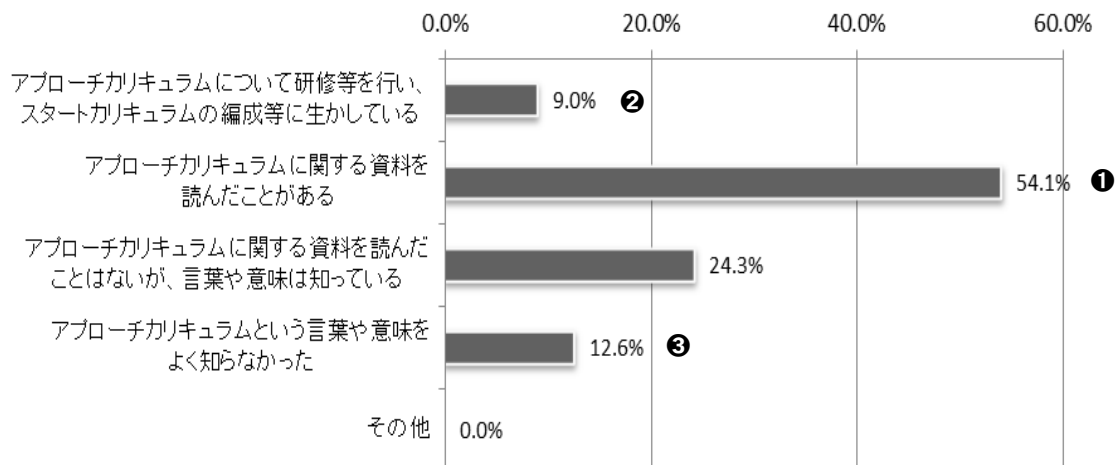
■特にカリキュラム等に関する意見交換については、実施の割合が大幅に増えた。⇒⑦

小学校接続を見据えたカリキュラム等の意見交換 H28：6.3% → H31：18.9%

Ⅲ 幼保から小学校への接続に向けた取組みについて

Ⅲ-1 アプローチカリキュラムについて、当てはまる番号に○をつけてください。

【小】アプローチカリキュラムに関する状況と認識



○54.1%の小学校が、「アプローチカリキュラムに関する資料を読んだことがある」と回答している。⇒①

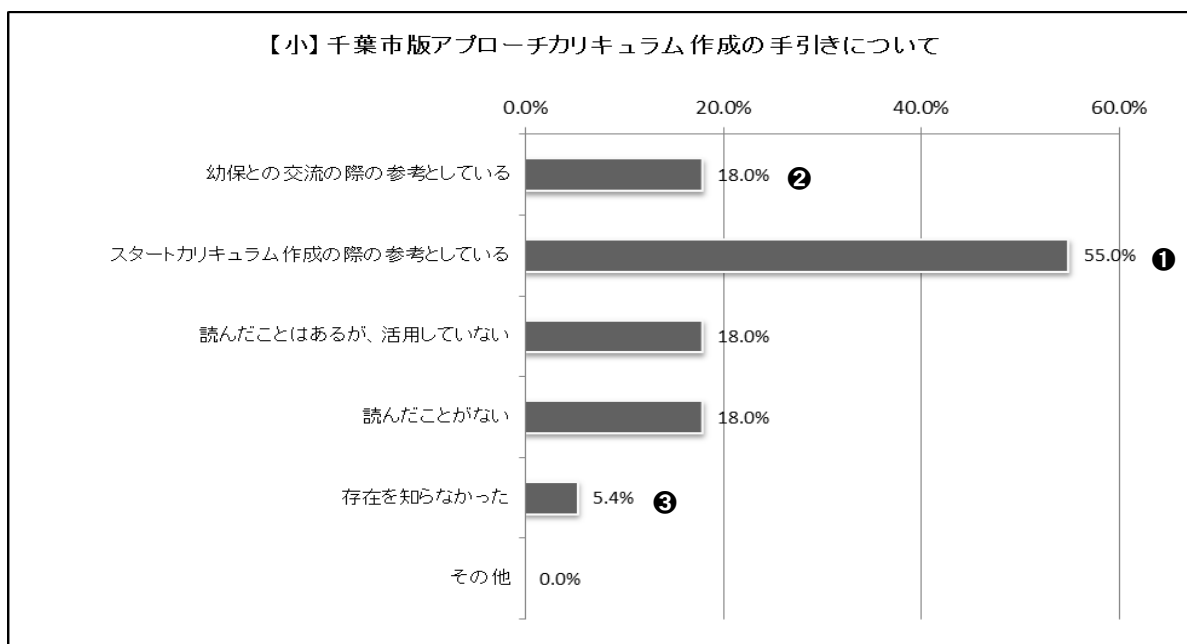
■前回の28年度の実態調査では、「アプローチカリキュラムについて研修等を行いスタートカリキュラムの編成等に生かしている」小学校の回答がなかったが、生かしていると回答した小学校の割合が大幅に増えた。⇒②

スタートカリキュラムの編成等に生かしている H28:0% → H31:9.0%

■「アプローチカリキュラムという言葉や意味をよく知らなかった」と回答した小学校の割合が大幅に減った。現在8割以上がアプローチカリキュラムを認識していることになる。⇒③

言葉や意味をよく知らなかった H28:50.9% → H31:12.6%

Ⅲ-2 「千葉市版アプローチカリキュラム 作成の手引き【第1版】」（平成30年3月発行）
 について、当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答）

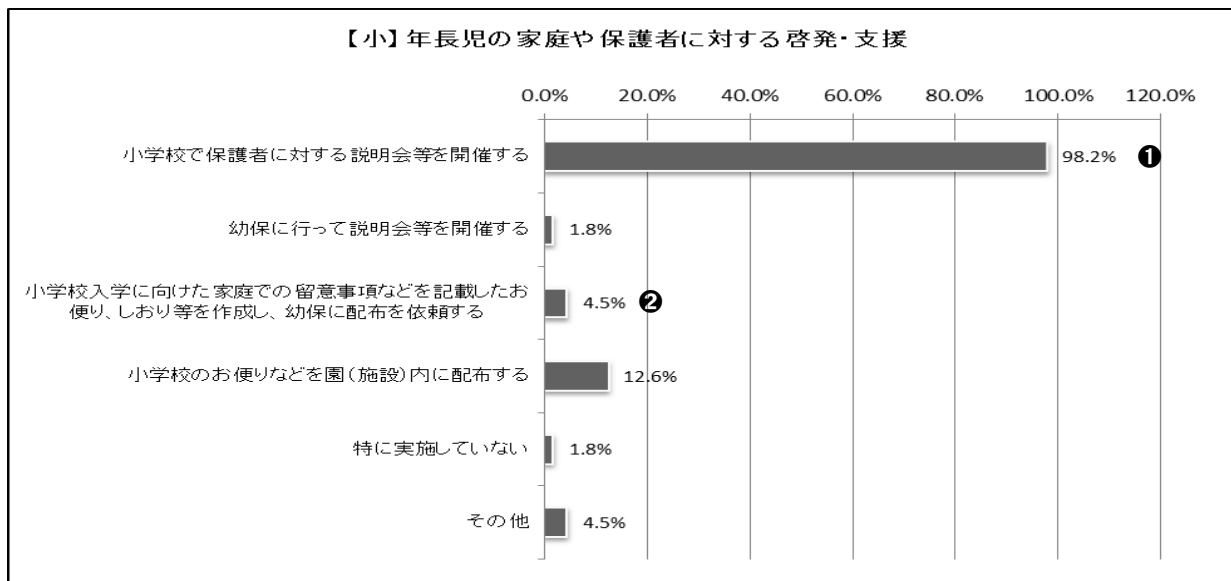


- 55.0%の小学校が、「スタートカリキュラム作成の際の参考」としている。⇒①
 ○また、18.0%が「幼保と交流の際の参考」としている。⇒②
 ○「存在を知らなかった」と回答した小学校の割合が5.4%で、現在9割以上が手引きを認識していることになる。⇒③
 ※全項目について今回新たに調査

IV 小学校入学を控えた園児の家庭や保護者への支援や啓発について

IV-1 幼稚園・保育所・認定こども園の年長児の保護者に対し、入学に対する不安を和らげたり、入学に向けた準備を支援したりするために行っていることはありますか。

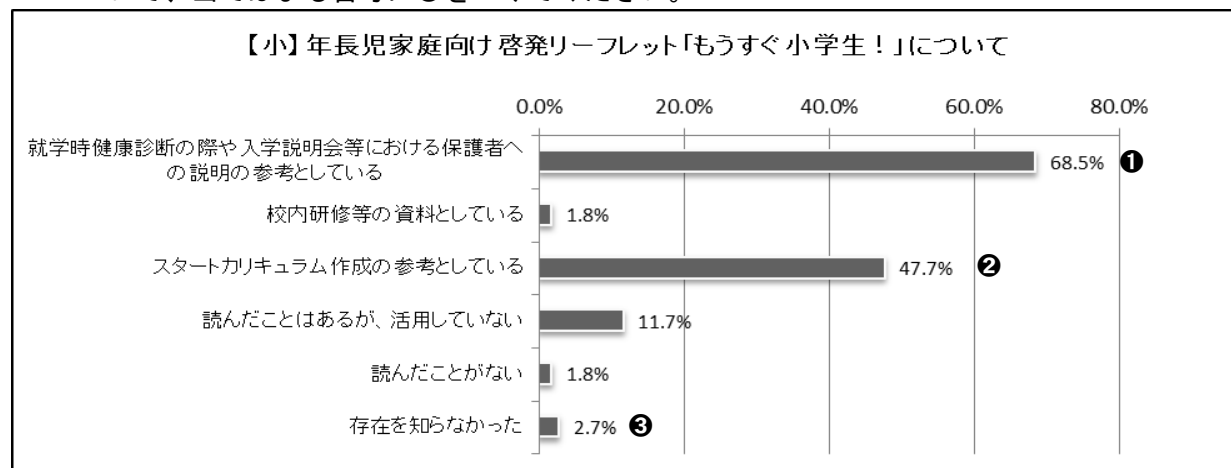
(複数回答)



○98.2%の小学校が保護者説明会を開催している。⇒①

○4.5%が小学校入学に向けた家庭での留意事項などを記載したお便り、しおり等を作成し、幼保に配布を依頼している。⇒②

IV-2 年長児家庭向け啓発リーフレット『もうすぐ小学生!』(平成30年11月発行)について、当てはまる番号に○をつけてください。



○68.5%の小学校が就学时健康診断の際や入学説明会等における保護者への説明の参考としている。⇒①

○47.7%がスタートカリキュラム作成の際の参考している。⇒②

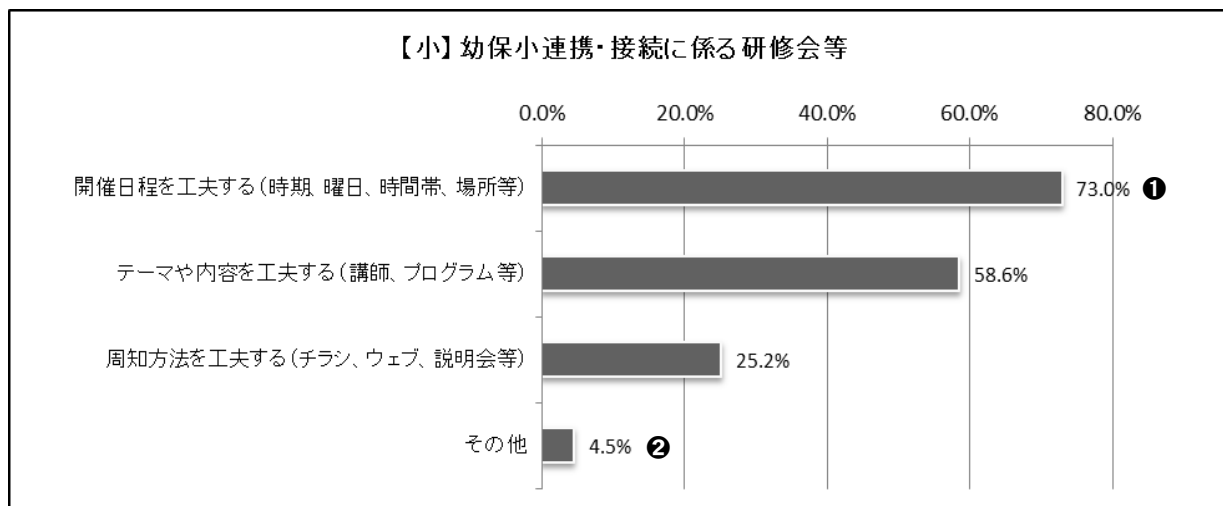
○「存在を知らなかった」と回答した小学校の割合が2.7%で、現在9割以上がリーフレットを認識していることになる。⇒③

※全項目について今回新たに調査

IV 幼保小連携・接続に係る研修会等について

IV 市ではこれまでに、幼保小連携・接続に関して、保育・教育関係者を対象とした各種の講演会・研修会等を企画・開催してきました。今後の参考とさせていただきますので、皆様がより参加しやすくなる、参加したくなると思える方法をお聞かせください。

(複数回答)



○一番多かったのは、73.0%で開催日程を工夫する(時期、曜日、時間帯、場所等)。⇒①

○その他では、開催内容等に関して以下の意見等があった。⇒②

- ・接続に関係する幼保の職員と小学校の教職員が交流、情報交換できる場があるとよい
- ・参加率が低くならないように、各校1名参加を義務づけたり、生活科主任の研修として位置付けるなど、受講必須の研修とすべき。

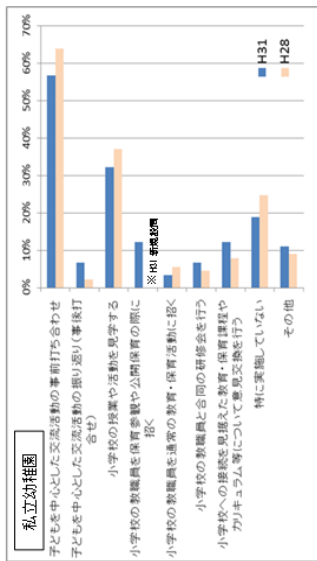
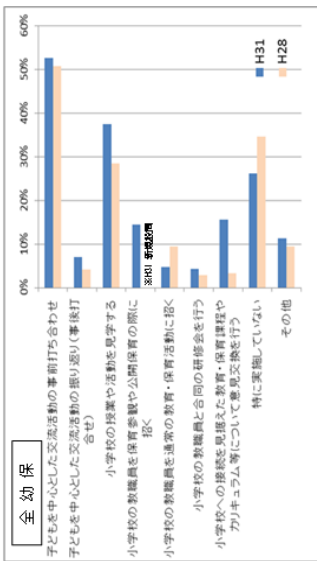
※全項目について今回新たに調査

＜参考資料 1＞

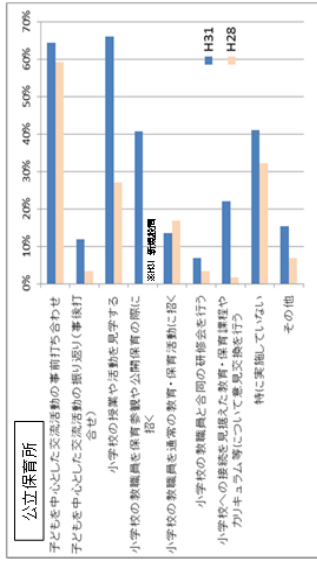
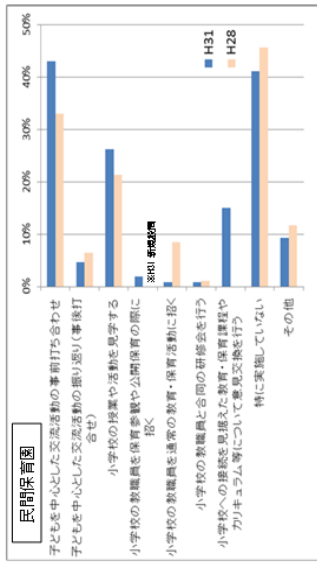
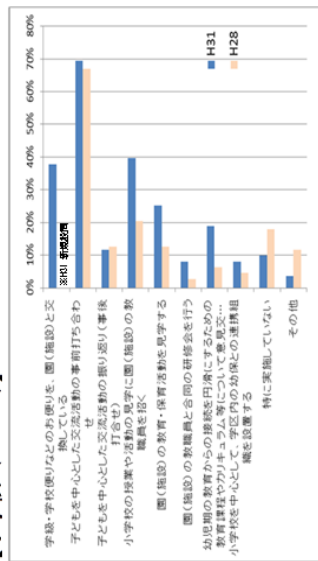
1 平成28年度実態調査との比較（教職員同士の連携活動の実施状況関係）

幼保小連携・接続に関するアンケート調査結果抜粋（教職員同士の連携活動の実施状況関係）

【幼稚園・保育所・認定こども園（P5）】



【小学校（P13）】

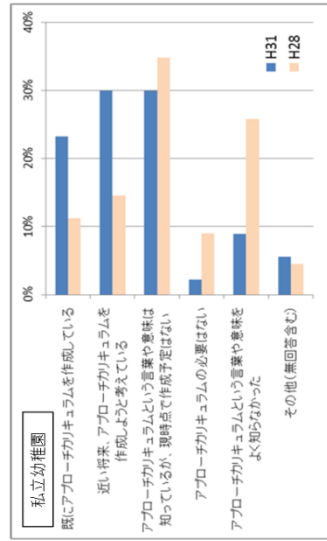
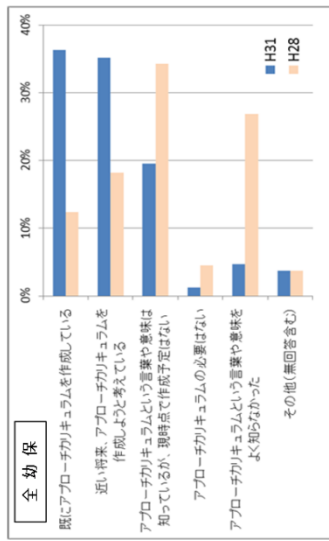


※幼保調査の「小学校の教職員を保育参観や公開保育の場に招く」の設問、小学校調査の「学級・学校便りなどのお便りを、園（施設）と交換している」の項目は、H31調査において新設。
 ※H28調査（幼保）では「小学校の教職員を保育・保育活動に招く」の項目において、「保育参観や公開保育」を合せて回答。
 （H31調査では「通常の教育・保育活動」と分けて回答。）

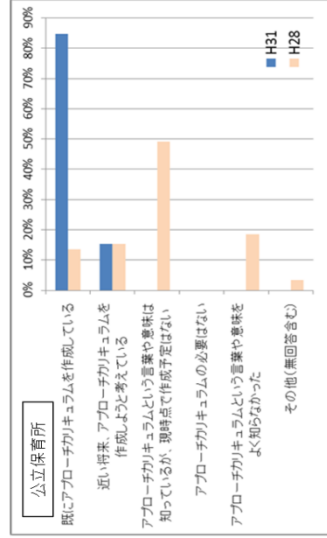
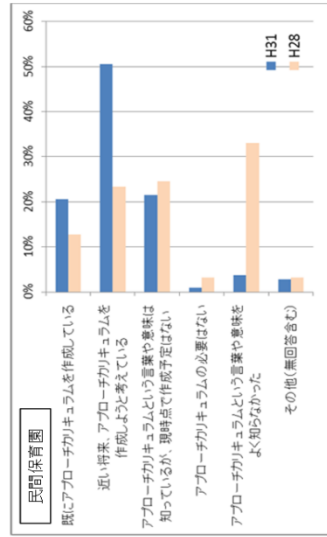
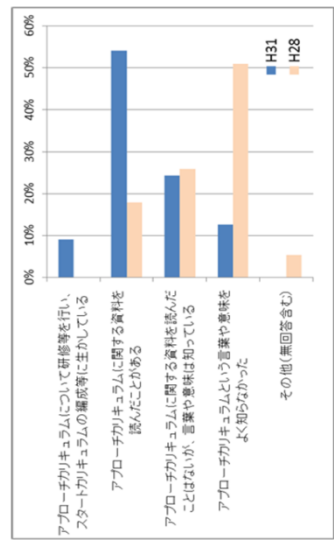
2 平成28年度実態調査との比較（アプローチカリキュラム関係）

幼保小連携・接続に関するアンケート調査結果抜粋（アプローチカリキュラム関係）

【幼稚園・保育所・認定こども園（P6）】



【小学校（P14）】



〈参考資料 2〉

設問用紙
（幼稚園・保育所・認定こども園）

幼保小連携・接続に関するアンケート

【※別添の回答用紙をお使いいただき、2月8日（金）までに、幼保支援課（裏面参照）まで FAX又はメールでご回答ください。】

Ⅰ 小学校との子どもを中心とした交流活動について

- 平成29年度または30年度に、次のような、子どもを中心とした交流活動を実施（年度内の予定も含む）しましたか。当てはまる番号①～⑤に○をつけてください。
- 園（施設）の通常の教育・保育活動に小学生を招く
 - 園の運動会、音楽会、お祭り等の行事に小学生を招く
 - 小学校の校庭や校舎を、園児の散歩などの際に見学させてもらう
 - 小学校の授業に参加したり、校庭や校舎で一緒に遊ぶ
 - 小学校の運動会、音楽会、お祭り等の行事に参加する
 - 小学校と一緒に給食を食べる
 - 小学校が幼稚園、保育所、認定こども園等を招いて実施する交流会等に参加する
 - 小学校の先生を招いて出前授業（模擬授業）を行ってもらう
 - 連携訓練・防災訓練を合同で行う
 - 特に実施していない
 - その他（特色ある取組みがあれば、具体的に記入ください）

Ⅱ 小学校との教職員同士の連携活動について

- 平成29年度または30年度に、小学校との教職員同士の連携活動を其他（年度内の予定も含む）しましたか。当てはまる番号①～⑤に○をつけてください。
- 子どもを中心とした交流活動の事前打ち合わせ
 - 子どもを中心とした交流活動の振り返り（事後行なせ）
 - 小学校の授業や活動を見学する
 - 小学校の教職員を保育参観や公開保育の際に招く
 - 小学校の教職員を通常の教育・保育活動に招く
 - 小学校の教職員と合同の研修会を行う
 - 小学校への接続を見据えた教育・保育課程やカリキュラム等について意見交換を行う
 - 特に実施していない
 - その他（特色ある取組みがあれば、具体的に記入ください）

Ⅲ 小学校への接続に向けた取組みについて

- 1 特に年長児の教育・保育課程やカリキュラムの編成・実施において、幼稚園の育ちや学びを小学校入学後の生活や学習につなげることを、どの程度意識していますか。
- 当てはまる番号1つに○をつけてください。
 - 大いに意識している
 - ある程度意識している
 - あまり意識していない
 - 全く意識していない
- 2 「アプローチカリキュラム」について、当てはまる番号1つに○をつけてください。
- <アプローチカリキュラムとは>
- 幼稚園における発達や学びを小学校での生活や学習に円滑に接続するために、幼稚園の教育・保育が終了する前の「接続期」（概ね年長児の発育）に、幼稚園・保育所・認定こども園で実施するカリキュラムです。
- 既にアプローチカリキュラム（名称は問いません）を作成している
 - 近い将来、アプローチカリキュラム（名称は問いません）を作成しようと考えている
 - アプローチカリキュラムという言葉や意味は知っているが、現時点で作成予定はない
 - アプローチカリキュラムの必要はない
 - アプローチカリキュラムという言葉や意味をよく知らなかった
 - その他（上記以外の考えなどがあれば、具体的に記入ください）

3 「千葉市版アプローチカリキュラム」作成の手引き【第1版】（平成30年3月発行）について、当てはまる番号①～⑤に○をつけてください。（※幼保支援課ホームページ参照）

- 小学校との交流の参考としている
- 指導計画月案（アプローチカリキュラム）作成・見直し等などの参考としている
- 園（施設）内における職員研修の資料としている
- 読んだことはあるが、活用していない
- 読んだことがない
- その他（上記以外の活用方法があれば、具体的に記入ください）

Ⅳ 小学校入学を控えた園児の家庭や保護者への支援や啓蒙について

- 1 年長児の保護者に対し、小学校入学に対する不安を和らげたり、家庭での入学に向けた準備を支援するために行っていることはありますか。当てはまる番号①～⑤に○をつけてください。
- 保護者会で話題にする
 - 保護者に対する説明会等を開催する
 - 小学校や教育委員会の教職員を招いて説明会等を実施してもらう
 - 家庭での留意事項などを記載したお便りを作成し、配布する
 - 小学校のお便りなどを園（施設）内に掲示する
 - 特に実施していない
 - その他（特色ある取組みがあれば、具体的に記入ください）

2 年長児家庭向け啓発リーフレット『もうすぐ小学生！』（平成30年11月発行）について、当てはまる番号①～⑤に○をつけてください。（※幼保支援課ホームページ参照）

- 幼児期の発達や保育内容の保護者への説明の参考としている
- 保護者懇談会などにおける説明の参考としている
- 園（施設）内における職員研修の資料としている
- 指導計画月案（アプローチカリキュラム）作成・見直し等などの参考としている
- 読んだことはあるが、活用していない
- 読んだことがない
- その他（上記以外の活用方法があれば、具体的に記入ください）

Ⅴ 幼保小連携・接続に関する研修会等について

- 市ではこれまでに、幼保小連携・接続に関して、保育・教育関係者を対象とした各種の講演会・研修会等を開催してきました。（※回答用紙裏面参照）
- 今後の参考とさせていただきますので、皆様より参加しやすくなる、参加したくなると思われる方法をお聞かせください。当てはまる番号①～⑤に○をつけてください。
- 開催日程を工夫する（時期、曜日、時間、場所等）
 - テーマや内容を工夫する（講師、プログラム等）
 - 周知方法を工夫する（チラシ、ウェブ、説明会等）
 - その他（具体的な内容や、上記以外のアイデアなどがあれば記入ください）

ご協力ありがとうございます。別添の回答用紙をお使いいただき、2月12日（金）までに、幼保支援課（下記参照）までFAX又はメールでご回答ください。

<問い合わせ先・ご回答先>
千葉市こども未来局 幼保支援課 幼保教育振興班 杉田・石橋
電 話 043-245-5100 FAX 043-245-5629
Eメール shim.tok@city.chiba.lg.jp

1 調査票（幼保調査）

訪問用紙
(小学校)

幼児小連携・接続に関するアンケート

※別添の回答用紙をお使いいただき、2月1日(金)までで、幼児支援課(兼出席)まで FAX又はメールでご回答ください。

I 幼稚園・保育所・認定こども園との子どもを中心とした交流活動について

- 平成29年度または30年度に、次のような、子どもを中心とした交流活動を実施(年度内の予定も含む)しましたか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。
- (1) 小学校の校庭や校舎の一部等を園児が使用している
(例：散歩のコース、道具の使用、校舎見学・探検)
 - (2) 小学校の通常の授業に園児が参加、参観する(例：生活科、学級活動)
 - (3) 小学校の運動会、お祭り等の行事に園児が参加、参観する。
 - (4) 小学校で給食と一緒に食べる
 - (5) 幼稚園・保育所・認定こども園で小学校の教職員が出席授業(観察授業)を行う
 - (6) 幼稚園・保育所・認定こども園の通常の教育・保育活動に児童が参加、参観する
 - (7) 幼稚園・保育所・認定こども園の運動会、お祭り等の行事に児童が参加、参観する
 - (8) 遊園地・防災訓練を合同で行う
 - (9) 特に実施していない
 - (10) その他(特色ある取組みがあれば、具体的に記入ください)

II 幼稚園・保育所・認定こども園との教職員同士の連携活動について

- 平成29年度または30年度に、次のような、幼稚園・保育所・認定こども園との教職員同士の連携活動を実施(年度内の予定も含む)しましたか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。
- (1) 学校・学級などよりのお便りを、園(施設)と交換している
 - (2) 子どもを中心とした交流活動の事前打ち合わせ
 - (3) 子どもを中心とした交流活動の振り返り(事後打ち合わせ)
 - (4) 小学校の通常の授業や行事に幼稚園・保育所・認定こども園の教職員を招く
 - (5) 幼稚園・保育所・認定こども園の教育・保育活動に小学校の教職員が参加、参観する
 - (6) 幼稚園・保育所・認定こども園の教職員と合同の研修会を行う
 - (7) 幼稚園の教育からの接続を円滑にするための教育課程やカリキュラム等について意見交換を行う
 - (8) 小学校区内の幼稚園・保育所・認定こども園との連携組織を設置する
 - (9) 特に実施していない
 - (10) その他(特色ある取組みがあれば、具体的に記入ください)

III 幼稚園の教育からの円滑な接続に向けた取組みについて

1. アプローチカリキュラムについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。
- <アプローチカリキュラムとは>
幼稚園における発達や学びの小学校での生活や学習に円滑に接続するために、幼稚園の教育・保育が終了する前の「接続期」(園児生徒降参の保育)に、幼稚園・保育所・認定こども園で実施するカリキュラムです。
- (1) アプローチカリキュラムについて研修等を行う、スタートアプローチカリキュラムの編成等に生かしている
 - (2) アプローチカリキュラムに関する資料を配ったことがある
 - (3) アプローチカリキュラムに関する資料を読んだことはないが、言葉や意味は知っている
 - (4) アプローチカリキュラムという言葉や意味をよく知らない
 - (5) その他(上記以外の考えなどがあれば、具体的に記入ください)
- (おページに続きがあります)

1

- 2 「千葉市版アプローチカリキュラム 作成の手引き【第1版】」(平成30年3月発行)について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。(※平成30年8月に各学校へ配布済、幼児支援課ホームページ参照)
- (1) 幼稚園・保育所・認定こども園との交流の際の参考としている
- (2) スタートアプローチカリキュラム作成の際の参考としている
- (3) 読んだことはあるが、活用はしていない
- (4) 読んだことがない
- (5) 存在を知らなかった
- (6) その他(上記以外の活用方法があれば、具体的に記入ください)

IV 小学校入学を控えた年長児の家庭や保護者への支援や啓発について

- 1 幼稚園・保育所・認定こども園の年長児の保護者に対し、入学に対する不安を和らげたり、入学に向けた準備を支援したりするために行っていることはありますか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。
- (1) 小学校で保護者に対する説明会等を開催する
 - (2) 幼稚園・保育所・認定こども園で行って説明会等を開催する
 - (3) 小学校入学に向けた家庭での留意事項などを記載したお便り、しおり等を作成し、幼稚園・保育所・認定こども園に配布を依頼する
 - (4) 小学校のお便りなどを園(施設)内に配布する
 - (5) 特に実施していない
 - (6) その他(特色ある取組みがあれば、具体的に記入ください)
- 2 年長児家庭向け啓発リーフレット『もうすぐ小学生！』(平成30年11月発行)について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。(※平成30年11月に各学校へ配布済、幼児支援課ホームページ参照)
- (1) 就学時健康診断の際や入学説明会等における保護者への説明の参考としている
 - (2) 校内研修等の資料としている
 - (3) スタートアプローチカリキュラム作成の参考としている
 - (4) 読んだことはあるが、活用はしていない
 - (5) 読んだことがない
 - (6) 存在を知らなかった
 - (7) その他(上記以外の活用方法があれば、具体的に記入ください)

V 幼児小連携・接続に係る研修等について

- 市ではこれまでに、幼児小連携・接続に関して、保育・教育関係者を対象とした各種の講演会・研修会等を開催してきました。(※回答用紙裏面参照)
- 今後の参考とさせていただきますので、皆様がより参加しやすくなる、参加したくなると思われる方法をお聞かせください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
- (1) 開催日数を工夫する(例：朝日、時間差、場所等)
 - (2) テーマや内容を工夫する(チラシ、ウェブ、説明会等)
 - (3) 周知方法を工夫する(チラシ、ウェブ、説明会等)
 - (4) その他(具体的な内容や、上記以外のアイデアなどがあれば記入ください)

ご協力ありがとうございます。別添の回答用紙をお使いいただき、2月1日(金)までで、幼児支援課(下記参照)までFAX又はメールでご回答ください。

〒100-0001 千代田区千代田
千代田市子ども未来局 子ども未来部 幼児支援課 幼児教育振興班 杉田・石橋
電話 043-245-5100 FAX 043-245-5629
Eメール shiten_crc@city.chiba.lg.jp

2

2 調査票 (小学校調査)

3 千葉市幼保小連携・接続検討会議 委員名簿

平成31年3月

<委員>

(敬称略)

	氏名	所属	職名	備考
1	杉森 信幸	めぐみ幼稚園	園長	私立幼稚園
2	山崎 佳世	由田学園千葉幼稚園	園長	私立幼稚園
3	松浦 伸治	すずらん保育園	園長	民間保育園
4	宇野 直樹	まどか保育園	園長	民間保育園
5	田中 悦子	白旗保育所	所長	市立保育所
6	中嶋 弘美	誉田保育所	所長	市立保育所
7	岩原 浩之	稲丘小学校	校長	市立小学校
8	尾高 正浩	轟町小学校	校長	市立小学校
9	中嶋 のり子	教育指導課	課長	千葉市教育委員会
10	栢見 康平	幼保支援課	担当課長	千葉市こども未来局
11	千葉 美江子	幼保運営課	担当課長	千葉市こども未来局

<助言者>

	氏名	所属	職名	備考
1	佐藤 慎二	植草学園短期大学福祉学科	教授	有識者
2	松崎 洋子	千葉大学教育学部幼児教育教室	教授	有識者

千葉県幼保小連携・接続に関するアンケート調査
結果報告書

平成 31 年 3 月

企 画 千葉県幼保小連携・接続検討会議

編 集 千葉県こども未来局こども未来部幼保支援課

住 所 〒260-8722 千葉県中央区千葉港 2-1

千葉県中央コミュニティセンター9 階

連絡先 TEL : 043-245-5100 (直通) Fax : 043-245-5629

Meil : shien.CFC@city.chiba.lg.jp